



2024 年度 市政懇談会
＜玉川学園・南大谷町内会自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年10月10日(木) 14:30 ～ 16:00

[場所] 玉川学園コミュニティセンターホール

司会進行： 市民協働推進担当部長

横山 法子

玉川学園・南大谷町内会自治会連合会 会長

田代 敏行

○ 連合会長の挨拶

玉川学園・南大谷町内会自治会連合会 会長 田代 敏行

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 南大谷地区の交通環境整備について

【道路部】

- 2 玉川学園地域の交通安全対策について

【道路部】 【防災安全部】

- 3 南大谷小学校及び金井小学校の統廃合計画について

【学校教育部】 【政策経営部】

- 4 災害時、玉川学園地域の防災対策について

【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 玉川学園・南大谷町内会自治会連合会 副会長

和田 矩一

2024年度 玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会 市政懇談会 議事録(要旨)

[日 時] 2024年10月10日(木) 14:30～16:00

[場 所] 玉川学園コミュニティセンター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

政策経営部長 神蔵 重徳

防災安全部長 大貫 一夫

道路部長 深澤 香織

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

玉川学園・南大谷地区町内会・自治会連合会長 ほか20名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 南大谷地区の交通環境整備について

(1) 都市計画道路について

南大谷交差点から成瀬三又に至る道路は歩道がほとんど無いうえ、バスを始め交通量も多く危険です。特に小田急線のガード下近辺は通学路にもなっており極めて危険です。この箇所の通過を避けるためには、かなり大回りをしていないといけません。

「町田都市計画道路3・4・34号町田金森線」の用地測量実施に関する説明会6月16日(日)10時～11時30分 南大谷小学校体育館に出席しましたが、はっきりしないことがまだまだあります。都市計画道路の整備

や進捗状況&計画を具体的に説明してください。

また、2022年度玉南連の市政懇談会議事録を見ると、この路線の都市計画道路は、昭和40年頃に整備する予定となっていたとの事です。こんなに計画が遅れたのは何故ですか？

(2) 南大谷郵便局から町田駅へ向かう歩道について

南大谷郵便局から町田駅へ向かう数十mには歩道が無く、その先の数十m行った所には歩道に柵があって（柵のある歩道は人がすれ違うのがやっとの幅しか無い）、歩道の両側に高さ1m以上草が茫々と茂っていて大変危険です。車道の横の歩道の草は、市で処分をお願いします。

(3) 小田急線高架下のアンダーパス対策を講じてください

大雨が降ると高架下は冠水し車の通行が大変危険です。揚水ポンプなどで雨水を恩田側に流すなどの対策が必要です。

【回答】

道路部長

議題1(1)の都市計画道路についてお答えします。

先ず、南大谷交差点から成瀬三又に至る現道の安全対策についてですが、現地で、歩行空間となっている路肩や歩道で雑草が繁茂しており通行の妨げとなっている箇所や、外側線や横断歩道が薄くなっている箇所を確認しました。

現道の交通安全対策として、歩行の妨げとなる雑草の草刈り、外側線の再設置を実施します。また、横断歩道につきましては、所管の警察に引き直しの要請を実施しました。

次に、進捗状況や今後の予定についてですが、南大谷交差点から恩田川と並行して南大谷小学校・中学校の間を通る町田都市計画道路3・4・34号【本町田金森線】の約1,000メートル区間と、これに接続する成瀬三ツ又交差点から恩田川方面へ伸びる町田都市計画道路3・4・9号【高ヶ坂成瀬線】の約300メートルにつきましては、現在同時進行で事業を進めております。

まず、3・4・34号【本町田金森線】については、整備上の課題となっていた河川や鉄道との交差方法の検討・協議が進んだことから、昨年11月に都市計画道路の線形変更手続きを終え、現在は、今年度中の事業認可取得に向けて用地測量を実施しております。

また、小田急線をアンダーで交差する区間の整備については、小田急電鉄と設計協議を進めております。

3・4・9号【高ヶ坂成瀬線】については、今年の4月に事業認可を取得し、6月に用地説明会を開催し、現在、用地取得を進めております。

今後は、用地取得の状況にもよりますが、両路線ともに概ね2027年度頃からの工事着手を目指して事業を進めてまいります。

最後に、現在事業を実施している理由についてですが、町田市域内の都市計画道路は、昭和30年代後半から40年代前半において、多くの路線が都市計画決定され、都市計画道路として整備していくこととしておりますが、この都市計画決定は、事業に着手する時期を定めたものではありません。

本路線の整備時期については、2006年4月に策定された「多摩地域における都市計画道路の整備方針」、いわゆる「第三次事業化計画」において優先的に整備していく路線として位置づけ、以降、東京都や警視庁、小田急電鉄株式会社と整備に向けた協議を進めてまいりました。

これらの協議を経て、本年度中に事業認可を申請する予定となっております。

続いて（2）の南大谷郵便局から町田駅へ向かう歩道についてお答えします。

ご要望の箇所は、南大谷郵便局から町田駅に向かって左側のガードレールのある歩道部分と伺っております。

この箇所は、市民からの通報やご要望を受け、現場確認を行い、通行の支障となっていたガードレール周りの雑草の草刈りを実施しました。

引き続き、歩行空間の確保に向けて適正な管理に努めてまいります。

続いて（3）の小田急線高架下のアンダーパス対策についてお答えします。

南大谷交差点から南大谷小学校へ向かう町田152号線にある「小田急線高架下のアンダーパスの冠水対策」としましては、2016年度に、毎時約210トンの排水能力を備えた大型の排水ポンプ2台を更新しております。通常の雨であれば1台のポンプで排水が可能な能力となっておりますが、大雨で排水能力を超えた場合は、2台目が作動し、冠水警報が表示されるシステムとなっております。

なお、ポンプ更新後は、冠水警報が表示されたことはございますが、通行止めをしたことはございません。

万一、冠水した場合には、冠水警報表示システムで通行車両、歩行者に警報を促すとともに、必要に応じて、南大谷交番と連携して通行止めを行ってまいります。

今後も台風等の予報に合わせて事前パトロールを実施し、冠水による事故の未然防止に努めてまいります。

《質疑》

南大谷町内会

(2)の南大谷郵便局から町田駅に向かう歩道についてということで、これを出したときは歩道が通れないぐらい、本当に草がぼうぼうだったのです。ところが、8月半ばに業者が来ていたので聞いたら、町田市から依頼されましと。ちょっと遅過ぎると思うのです。今はなくなったので、安全になりました。

玉川学園南台自治会

1番の件でお話をさせていただきたいのですが、そもそもこのエリアはハザードマップによると洪水の起こる領域ということで規定をされておるのですが、防災の観点から、ここに路線をつくるのが本当にいいのかどうかというご検討はされたのかどうか。ハザードマップだと、こちらは水害で水没するエリアになっていると確認できたのですが、そこに新たに道路を拡張してつくるという考えが妥当なのかということで、ご検討なされたのかをお聞かせいただければと。ただ道路は道路だけで敷くのだという考えでいらっしゃるのなら、もうちょっと待ってよという話になると思うのですが、その点はいかがですか。

道路部長

ハザードマップは町田市の防災安全部で策定している、浸水リスクの高いエリアを示したものだと思うのですが、都市計画道路全てがハザードマップに該当するところを避けているかという、そうでもないところも確かにあります。河川沿いのエリアなので、確かに浸水のリスクは高いところです。一部、梅の橋ですとか石洗橋の部分に黄色になっているところ、0.1から0.5未満というところ、一番低い、ハザードマップの色塗りの部分にはなっていますが、全く通れなくなるところではないという認識で考えています。

玉川学園南台自治会

昨今の天候不順の方向からいくと、集中的な豪雨が発生しということで、それぞれ各自治会の方々はある程度注視されていらっしゃるということを聞いているのですが、我々としてもその点に対して、あるいは皆さんのところで、どこまで突っ込んだ形でご検討なさったのかが見えないものですから、そこをお聞きしたいのです。このハザードマップはあくまでも基準であって、これから拡大する可能性も出てくるということで、想像は簡単にできるのですが、その辺の検討はしていらっしゃるのですか。

防災安全部長

玉川学園南台自治会の方が言われているようなゲリラ豪雨、線状降水帯が急にできて、ゲリラ的に降るというのが、ここ最近、そういった雨の形が、台風であれば予想が結構できるのですが、ゲリラ豪雨については、我々も気象庁とやり取りしているのですが、急に発生しながら短時間で降って、短時間で去っていくみたいな部分があります。そういったときに、こちらのハザードマップは、先ほども言われているように、計画的にありますけれども、恩田川については、おおむねのみ込むという想定で、今、我々は考えさせていただいているところです。

南大谷団地自治会

先ほどの南大谷町内会の方の2番の草刈りが8月半ばに来たのは時期が遅かったというお話についての答えがなかったので、来年は早めていただけるのですか。

道路部長

草刈りは、計画的に実施しているのですが、その年によって草の伸びも変わったりするところもあります。注視して、早めに出せるようには努力していきたいと思います。ご迷惑をおかけしてすみません。

2 玉川学園地域の交通安全対策について

昨今、道路交通法の改正や自動運転等の先端技術進歩及びコロナ禍による生活環境の変化により生活道路における交通環境が大きく変わってきております。2年前より市政懇談会の議題として、玉川学園地域の交通安全対策について要請してまいりました。

地域としましても、2024年5月12日「玉川学園地域 交通安全対策協議会」を立ち上げ、横浜市の先進事例の視察を行い、交通安全対策協議会が行えることを進めております。

具体的には、

- ・危険地域6か所を設定
 - ・6か所の内2か所を特定して優先的に取り組む（町田第五小学校前20キロ制限道路・花壇道路）
 - ・2か所を改善すべく協議会内で委員会を設け具体的な検討に入る。
- そこで2点要望いたします。

（1）上記特定した2か所を改善すべく来期の予算計上を強く要請致します。
（内容的には車道と歩道を識別し易くなるようカラーペイント塗装、ポストコーンの設置、案内プレートの設置、防犯カメラの設置、バンプの設置等）

(2) 町田市では、「交通事故のない安全安心な町田市」を実現するために「第3次交通安全行動計画」において、「基本方針に事故が起きない道路交通環境づくり」を目標として掲げ、「さらに2%削減」に向けた新たな取り組みとして地域団体による交通安全事業を支援する「地域団体との協働事業」とありますが、今回立ち上げた「玉川学園地域 交通安全対策協議会」への助成金を出していただきたい。また、地域の交通環境を整えてゆくため町田市の積極的な取り組みを要望します。

【回答】

道路部長

議題2の玉川学園地域の交通安全対策についてお答えします。

ご要望いただきました、2か所の交通安全対策の実施につきましては、「玉川学園地域 交通安全対策協議会」内の委員会において具体的な検討に入ると伺っております。

委員会でご検討いただいた内容を踏まえ、設置された協議会を通じて、交通管理者である警察と連携を図りながら、皆さんと一緒に交通安全対策について話し合いを進めていきたいと考えております。

なお、道路の狭窄等に使用する「ポストコーン」の設置等については、地域のご理解とご協力が得られれば市の直営作業で設置が可能な対策もございます。協議会での方針が決まり次第、順次対策を講じてまいります。

防災安全部長

(2) 「玉川学園地域 交通安全対策協議会」への助成金について、お答えいたします。

ご質問がありました「地域団体との協働事業」は、交通安全運動や各種キャンペーンの時期に合わせて、地域団体が交通安全の視点を取り入れた事業を実施できるように支援するという取組でございます。具体的には、地域団体が普段の活動に、交通安全意識の向上につながる活動を新たに加えていただくため、その企画や運営面について技術的な支援をするものでございます。

現在、町田市では、市全域を対象に交通安全指導や交通安全啓発活動を実施している交通安全協会を対象とする補助制度はございますが、個々の地域で交通安全に関する活動のみを行う団体を対象とした補助制度はございません。

市としましては、地域における交通安全に係る機運をさらに高めていくため、あらゆる機会を捉えて、警察署と連携しながら、交通ルール等の啓発活動を地域とともに進めてまいります。

《質疑》

町田第五小学校 P T A

町五小の校外として見守り活動をしていますけれども、こちらの20km制限道路に関して、今、危険度が高いと思っております。（1）にも書きましたが、予算計上が来期されるのかされないかによって今後の対策が早めに行えるかできないかというところを知りたかったので、予算計上をどのくらいしていただけるのかという回答をいただきたいと思います。

道路部長

ご質問にも予算計上ということで具体的には書かれているのですが、ここで今、予算計上について、できますという明言ができるわけではありません。安全対策事業という形で、大きな枠の中で予算を取っていますので、その中で、委員会、協議会を経て優先順位を検討させていただいた中で、できることから順次やっていくという答えにとどまってしまうことでご了承いただければと思います。

（司会）地区連合会長

今のお話ですと、予算を確定的に計上はできないと。今後の打合せの中でできるだけ協力をいたしますという回答ですか。

協議会の代表としては、ご意見、どうですか。

玉川学園町内会

今のお答えに対しては、我々のほうでこういう対策をしてほしいという具体的な案を出せば、それに対して答えを出してくれるということによろしいでしょうか。

道路部長

今、こちらは具体的なグリーンの舗装をしてほしいということでご要望をいただいているという認識ではおりますが、ここで今すぐ、予算を確保して整備できますよというご返答はできないので、ほかの事業も含めて、優先順位を決めながら対応していきたいというお答えをさせていただいたところです。

町田第五小学校 P T A

ということは、いつできるのかが具体的に見えてこないのですが、とにかく子どもたちの安全を守りたい、そこだけなのです。そこで要請はしていくのですが、どのくらいの規模で考えていらっしゃるのかだったりとか、どのくらいのペースでできるのかだったりというのは実際に教えていただきたい。

例えば、こういう項目があって、プライオリティーが当然あるはずなので、何番目なのですかということを具体的に聞きたいということを言っているの

です。

道路部長

歩行者、児童の安全を第一にということは私どもも重々承知しているところです。現在、協議会を設立して、道路部の職員、学校の職員、さらに警察の方、P T Aの方が入ってお話合いが始まったと認識しており、その中でこれを優先的に進めてほしいというお話は十分認識しているところです。優先順位としては上げていきたいと考えておりますが、来年、再来年、すぐにできるかというところは申し訳ないのですが、答えられないということです。

（司会）地区連合会長

予算規模が分からないということもあるので、具体的にここに書いてあるように、歩道を識別しやすいようなカラーペイントだとか、ポストコーンの設置だとか、案内プレートだとか、防犯カメラの設置だとか、こういう程度のものを今考えていると。これをぜひ来期の予算の中で実行したいということなので、その程度の予算規模の中で対応していただけますかという話です。

道路部長

年間7000ほどの件数の要望をいただいております、命に関わるような路面の損傷や崩壊等も含めて安全対策事業という大きな枠の中で対応しています。その中で順次やっていけるところはやっていこうということで、うちの職員も一緒に、児童の安全対策は最優先して進めているところです。何度も繰り返しになってしまいますが、今ここですぐに来年やりますよというのはなかなか難しいというお答えになります。

地区連合会長

これはなかなか結論が出ないと思うのですが、1週間ほど前に町五小の近くで車と児童の接触事故がありました。事故が起きてからでは遅いので、そういうものに対して、我々は横浜市の事例もいろいろ見ましたし、行政が積極的に展開をしているという事例も見ているので、ぜひその辺はご理解いただいて、協力をいただきたいということです。

3 南大谷小学校及び金井小学校の統廃合計画について

少子化と深刻な学校施設の老朽化に対応すべく2040年までに小学校を42校から26校に削減、中学校を20校から15校へ統合する時期に校舎を建て替えることで老朽化が進んだ教育環境を再構築するとあるが、

（1）町田市第五小学校の新校舎使用年度は2035年の計画であるが予定通り進んでいるか。

- (2) その時生徒数はどれだけ増えるか。
- (3) 遠距離通学による安全対策はどう考えているのか。
- (4) 南大谷小及び金井小の廃校に伴い、跡地の利用計画を示してもらいたい。

(避難施設としての機能、地域コミュニティとしての施設運用等)

【回答】

学校教育部長

議題3(1)町田第五小学校の新校舎使用年度は2035年の計画であるが予定どおり進んでいるか、についてでございますが、2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」では、町田第五小学校は、学校統合を伴わず単独で建て替えることとしております。

具体的な検討に着手する時期といたしましては、第2期として、2028年度に基本計画の検討着手、2035年度に新校舎使用開始を予定しております。

一方で、「新たな学校づくり推進計画」を策定して以降、急激な施設整備費の高騰もあり、施設整備の時期が遅れる可能性もあります。

続いて、(2)その時生徒数はどれだけ増えるか、についてでございますが、2035年度の新校舎の使用開始に合わせて、現町田第五小学校学区に、現在の金井小学校区の玉川学園四丁目及び五丁目の一部と、南大谷小学校区の玉川学園八丁目全域を加えた新たな通学区域とします。

2020年度に実施した児童・学級数推計では、2035年度の新たな通学区域における児童数・学級数は、616名20学級となることを見込んでいますが、近年の出生率の状況を見ていると、現実にそれだけ増えるかは分かりません。

続いて、(3)遠距離通学による安全対策はどう考えているのか、についてでございますが、「町田市新たな学校づくり推進計画」では、通学時間の許容範囲を「おおむね30分程度」、通学距離の許容範囲を「徒歩でおおむね2km程度」を目安としています。

また、おおむね30分程度を目安として通学できるよう、通学距離が遠い児童・生徒につきましては、公共交通機関のさらなる活用やスクールバスの導入などを、地域それぞれの実情やニーズを踏まえて検討及び実施するものとしています。

2035年度の新たな通学区域における町田第五小学校学区においては、この、「通学時間及び距離」の範囲内に収まっており、これまでと同様に通学路の安全対策を実施してまいります。

政策経営部長

（４）南大谷小及び金井小の廃校に伴い、跡地の利用計画を示してもらいたい。（避難施設としての機能、地域コミュニティとしての施設運用等）について、お答えいたします。

学校跡地に導入する機能につきましては、それぞれ学校跡地周辺にお住まいの方をはじめ、地域で活動している団体など、より広く多くの方からご意見を伺いながら、地形や接道の状況など、様々な視点からその可能性を学校跡地ごとに整理し、効果的な利活用を検討していきたいと考えております。

ただし、避難施設の機能につきましては、災害時には移動困難になることが想定されるため、閉校となる学校周辺の方がより近くの場合に避難できるように、跡地に残すこととしました。

南大谷小学校の跡地につきましては、隣接する南大谷中学校も避難施設であることから、避難施設機能の役割分担を検討してまいります。

金井小学校は、藤の台小学校と統合し、金井スポーツ広場に新設校を整備する予定です。避難施設の機能は、３か所で分担しますが、金井小学校は土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域に該当しているため、このことを踏まえた検討が必要となります。

学校跡地の活用検討の開始時期につきましては、それぞれの学校が統合されるおおむね６年前から始めたいと考えております。

したがって、南大谷小学校は２０３６年度に統合となるため、６年後の２０３０年度から検討を開始する予定です。

金井小学校は２０３９年度に統合となるため、９年後の２０３３年度から検討を開始する予定です。

《質疑》

玉川学園町内会

町五小の統廃合後の人数、町五小の学童の数に対して６１６名ということなのですが、現状は何名でしょうか。

学校教育部長

町田第五小学校単独で、普通学級だけになってしまうのですが、今年５月の時点では５３０人の１８学級となっています。ほかの地域から入れても、そのぐらいの数字で収まると考えています。

玉川学園町内会

計画では８０名ぐらい増えると。ただ、学童の減少等もあって、これよりも逆に減る可能性もあるという理解でよろしいでしょうか。

学校教育部長

実際には減っていると思います。

玉川学園町内会

あと、跡地のところで校舎の建物は当面残して、避難施設として使っていくという考え方でよろしいでしょうか。

政策経営部長

実際のところ、南大谷小についても2036年、今から10年以上先の話となりますし、金井小については39年からになるので、その時点で使えるか使えないかということも含めてですが、今の段階において、教育環境の改善が大きな目標としてあるのですが、もう一つ、施設の老朽化があります。この建物をこのまま維持していくのが困難であり、公共施設再編の考え方は、施設総量を減らしながらサービスの維持向上を目指していくというところですので、校舎を残していくという考え方ではありません。ですので、避難施設機能という言い方をさせていただいておりますのはそういうところです。それをどのように実現していくのかというのは、これから皆さんと検討させていただきたいと思っています。

旭ヶ丘町内会

南大谷小学校を閉校する場合、当然、第六小学校にも編入があると思うのですが、その場合、今現在、第六小学校の体育館を防災で使用するような形で動いています。そういう関係で、今、南大谷の一部と春日台、向陽台、高ヶ坂団地の一部の人たちの要介護者が体育館に避難する。この体育館が2階になっています。ですから、こういうときに体育館を1階にするような大きな工事をすることはないのでですか。

学校教育部長

現在、そのような工事は検討していません。町六小と高ヶ坂と南大谷の統合の新校舎は、現在は2034年にできる予定です。そのときにどういう形にするかというのは、まず地元の方と一緒に協議会をやりまして基本計画をつくります。そのときにそのようなご意見があれば、そういうことも反映して設計に移っていくということをしますので、その段階で検討を始めます。その前の段階で2階を1階に直すという工事はいたしません。

町田市長

答えが足りていないのだけれども、要介護の方は、多分、2階に行くのは難

しいだろうという質問だったと思うのです。実際に要介護の場合には、一時的に体育館ですが、原則的には、ほかの高齢者施設などへ、当面、混乱している3日間は無理だと思うのですが、その先、移送することになっています。2階にいきなりというわけにはいかないので、町六の場合には特別教室とか、別の部屋で要介護者の場合は避難をしていただく。それも一時的になると思いますが、そういう手だてで、2階に行ってもらうことはないと思います。

学校教育部長

すみません、本当に足りなかったです。特別教室も使えますし、あと、保健室に来てもらうとか、そういうところに行くのが大変な方は、別のところへそういう場所を整えることは当然いたしますし、それぞれの避難施設で割り振られている人間のほうで、その検討はしているところです。

旭ヶ丘町内会

先月、子どもは第六小学校を使って防災訓練をやりました。そのときに、あそこを利用する町内会で、大体5名ずつぐらい参加してやったのですが、あそこは、健常者は避難しないのです。要介護の人しか行かないという形でやるのですが、まずもって、自主防災そのものがまだ出来上がっていない。事前にやったのですが、全くむちゃくちゃでできない。健常者ではないのだから。だから、私がお願いしたいのは、小学校の高学年が理解できるようなやり方でやらないと、まず無理です。そういう関係で、これからずっと行きますけれども、いつ地震が来るか分かりませんから、真剣に考えてほしいです。

防災安全部長

今お話ししているような要配慮者に関わる工夫については、我々は、今、中学校が近くにありますので、中学校の生徒とか、あと高校生、そういった若い力を、災害があった場合においては活用ができないかというところで検討はさせていただいております。まだ合意に至っているわけではないのですが、そういった手を使わないと、住宅の中には高齢者の方がいて、若い世代の人たちは仕事に行っているということがあると。では、誰がやるのだ、女性がやりますかという、それでも手が足りない。そういったときに、小学校の高学年がいいかどうかは分からないのですが、中学生、高校生ぐらいの生徒がいるようであれば、そういった災害のボランティアに切り替わっていただきながら活動していきたいと考えております。

4 災害時、玉川学園地域の防災対策について

(1) 東京都が今年度から実施している「区市町村災害対応力向上支援事業」について、町田市計画について、説明されたい。

(2) 玉川学園町内会では、発災した際、荒天時でも自主防災隊活動が円滑に継続できるよう、次の施設を防災拠点として整備を進めているところである。ついては、将来的に両施設への非常用発電設備及び防災井戸の整備について検討したいため、「区市町村災害対応力向上支援事業」に関連した費用の一部助成について、検討していただけないか。

イ) さくらんぼホール(玉川学園3丁目35-45)

ロ) こすもす会館(東玉川学園4丁5-28)

(3) 玉川学園町内会では、崩落リスクのある擁壁(ようへき)を事前に把握し、具体的な対策に役立てるために、町内会独自に振動計(約223万円)を購入することで、擁壁ハザードマップ(仮称)の作成を検討している。ついては、振動計購入費の一部助成について、検討していただけないか。

(4) 町田第五小学校は、避難施設であり、町田市地域防災計画では、推定避難者数:1,549名で計画されている。しかし、体育館のほか教室を避難施設として開放しても収容者数は800名程度であり、収容しきれない避難者を収容するため、昨年度(2023年度)から避難広場等に野外テントを張り、避難施設とする案が検討されているが、1,549名を避難させるための具体策について、説明されたい。

(5) 藤の台小学校及び金井小学校は、避難施設に指定されており、町田市地域防災計画では、推定避難者数が藤の台小学校:464人、金井小学校:666人で計画されている。しかし、両校は、共に2038年度末に廃校され、金井スポーツ広場に建設予定である新校舎に統合される計画である。また、その他にも南大谷小学校、成瀬台小学校も廃校予定と聞いており、相次ぐ廃校で避難施設の減少に繋がるのではないかと住民の不安が高まっている。

なお、災害対策基本法第5条「市町村の責務」において、市町村には、「住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、(中略)防災に関する計画を作成し、及び法令に基づきこれを実施する責務を有する。」とあり、廃校が避難施設(指定避難所)の減少に繋がるのであれば、町田市が推計している避難者全員を収容できる新たな防災計画がいつ提示できるのかの回答を得たい。

(6) 近年の災害では、避難施設での幼児及び女性に対する性被害が報告されているため、更衣室、授乳ルーム及び体調不良者のための居室については、外部から見えることがないように、「仕切り」等を避難施設の備蓄倉庫に整備していただきたい。また、仮設トイレ及びマンホールトイレ周辺には、監視カメラを設置する等、防犯体制の強化についても検討していただきたい。

(7) 能登半島地震においては、仮設トイレの衛生環境維持が大きな課題となった。ついては、各避難施設には、トイレ・トレーラー(移動設置型お尻洗い機能付き水洗トイレ)を派遣できるよう、町田市での配備又はレンタル体制の構築について、検討していただきたい。

(8) 町田第五小学校を現行の「準救護連絡所」から「震災時医療拠点」へ

の変更について再度検討をお願いしたい。

理由は、2023年度の市政懇談会において、玉川学園地域は、災害拠点連携病院である町田胃腸病院及びあけぼの病院を中心とする半径2キロ圏内にあるためと説明があったが、町田街道は、災害対策基本法に基づく第二次の交通規制対象路線であるため、町田街道を迂回したとしても各病院に病人を搬送する為には、相当な時間を要する。更に玉川学園地域は丘陵地であるため、リヤカー等による人力搬送には限界がある。相原小学校、成瀬台小学校、大蔵小学校に加え町田第五小学校を「震災時医療拠点」としての追加を切に望みます。

【回答】

防災安全部長

(1) 町田市では、今年度は令和6年度区市町村災害対応力向上支援事業を活用し、主に初期消火対策、通信対策の事業を行っております。

初期消火対策については、木造住宅密集地域において、住宅用消火器購入の支援をしております。対象者は、金森一丁目または玉川学園八丁目の木造住宅にお住まいの世帯で、補助率は1/3です。締切りは今年10月31日となっております。

通信対策については、自主防災組織の活動拠点における電源確保及び情報収集環境の整備の支援をするもので、対象は自主防災組織です。対象製品は、Wi-Fiルーター、非常用発電機、蓄電池で、補助率は1/2です。7月1日から9月20日までで申請は終了しており、この間に8団体の自主防災組織から申請がありました。

(2) 市では今年度、東京都の区市町村災害対応力向上支援事業を活用し、自主防災組織に対する通信対策のための活動補助として、防災拠点などで使う移動可能な非常用発電機の整備補助をいたしました。こちらの補助につきましては、9月20日をもって終了しており、8団体の自主防災組織から申請をいただきました。

また、市では避難施設である各小中学校に据置き型の非常用発電機を整備しております。現在ほかの施設に対する発電機の補助は予定しておりません。

(3) 町田市において災害への対策を考える際には、当該土地について、ハザードマップはもとより、切土や盛土、また、旧地形や造成年代を参考にすることが重要であることをお知らせしております。

また、令和4年4月に国土交通省が作成した「宅地擁壁の健全度判定・予防保全対策マニュアル」では、宅地擁壁の健全度判定は、主に目視調査によることを基本としています。

ご要望の振動計につきましては、今後国や都、他自治体等の動向を研究して

まいりたいと思います。

(4) 町田第五小学校の避難者推計 1, 549 人のうち、1, 447 人については、体育館及び特別教室に加え、普通教室に避難をしていただき、また、102 人の方々については、校庭において約 50 張の屋外用避難テントを用意し、活用していただくことを想定しております。

屋外用避難テントは、年内には町田第五小学校の防災倉庫への配備が完了する予定です。

(5) 町田市では、災害時に避難者が移動困難になる状況を踏まえ、市民の皆様が安心・安全に避難していただけるよう、閉校となる小中学校についても必要な備蓄をするとともに、各種設備や躯体などの状態を鑑み、使用可能な体育館や施設は活用しつつ、屋外用避難テントなども利用してまいります。

(6) 都のガイドラインでは、更衣室、授乳ルーム及び体調不良者や要配慮者のための居室等の専用スペースは、可能な限り個室が望ましいとされております。これを受けまして、町田市においても、可能な限り個室スペースを確保するため、避難施設において、屋内用避難テントや間仕切りを活用することで、避難者のプライバシー確保を図ってまいります。

また、防犯体制の強化については、仮設トイレ及びマンホールトイレなどについて、避難施設運営委員及び自主防災組織において、定期的な見回りを行うことなど、検討してまいります。

(7) 町田市におきましては、マンホールトイレを中心に、各避難施設で必要なトイレを確保しております。トイレトレーラーの配備については、他自治体の状況等を注視しつつ、引き続き、市民の皆様が安心できる災害時のトイレ対策に取り組んでまいります。

(8) 玉川学園地域は災害拠点連携病院である町田胃腸病院、あけぼの病院や震災時医療拠点である成瀬台小学校、大蔵小学校の半径 2 km の範囲内でおおむねカバーされていること、町田第五小学校が町田胃腸病院、あけぼの病院の半径 2 km の範囲内にあることから準救護連絡所としております。そのため、現段階では震災時医療拠点への指定は考えておりません。

《質疑》

旭ヶ丘町内会

とにかく部長さんたちは話がうまいし、文章をつくるのも上手だし、実際、現場で現物を現実に見て、どうですか、同じように本当にやっていますか。や

っていないのだから。私はそれを実際現場でやっているのだから。それをお願いしますよ。現場で現物を現実に見て、本当にこれで要介護者が2階へ上がっていくことはできるか。順路もできない。みずすましもない。みずすましとは何か分かりますか、分からないでしょう。みずすましというのは、あなたがここで、会長で指示を出しますよね、あなたが動いたら指示ができなくなる。だから、ここにみずすましというどこにでも動ける人を置いておくのです。そういうやり方で、とにかく文章もうまいし、口もうまいのだよ。実際、現実によらせてみると全く話にならない、そういうことです。

防災安全部長

私も、東日本大震災のときも現地に行かせていただいて、また、新潟の中越にも行かせていただいて、今私がお話ししたようにきれいにいくかということ、旭ヶ丘町内会の方が言われるように、きれいにはいかないです。ただ、きれいにいくようにするために我々は地域の皆様方とお話をしていかないといけなかなと思っております。船頭がいっぱいいると、いろいろな形で分散をしてしまいますので、そうではなく、やはり現会長が音頭を取っていただきながら、また、前会長が音頭を取っていただきながら、こうだよ、ああだよというような指示命令系統がうまくいかないと、多分、災害には対応できないかなと我々もっております。その後の支援という形を考えていきたいと思っております。

玉川学園町内会

2番目のところで、非常用の発電設備、発電機を用意してありますとおっしゃいましたけれども、発電機は、燃料は何をお使いでしょうか。ガソリンでしょうか。もしガソリンの燃料をお使いになるとしたら、何日分のガソリンを発電機と一緒に備蓄していらっしゃいますでしょうか。

また、ガソリンを大量に保管する場合には危険物扱いですので、その保管場所の責任者が、危険物の取扱いの資格を持っている人が発電機の管理ができるかどうか、そういうところまで具体的に管理なさっているかの確認をお願いします。

防災安全部長

防災倉庫に発電機があります。今言われるように、ガソリン缶詰を36缶置いてあります。そちらについては安全管理者を置かなくても大丈夫です。ただ、そちらを入れてしまってもなくなった場合は、他の避難所から足りない部分を調達するような段取りになりまして、1か所に大容量のガソリンを置くことはしておりません。

玉川学園町内会

了解です。ありがとうございました。

もう一つお尋ねしますが、以前、私がアマチュア無線の資格を持っておまして、自宅に無線設備を持っていますけれども、まだ市役所が旧市庁舎だった頃に防災無線の連絡を取り合って、町内会の避難訓練だとかがあった場合にはアマチュア無線を使って、お互いに交信した記憶があります。そのときに、私自身も市の防災登録局という腕章をもらって登録されたと思います。新しい市役所へ変わってからは、いつか、屋上に無線の大きなアンテナがくっついていてような記憶があるのですが、最近、市役所の前を通って確認しましたところ、無線のアンテナが取り外してなくなっていますね。ということは、市役所の防災担当の方には、そういう無線の資格を持った方がいらっしゃるかと、私どもは勝手に理解しているのですが、非常時の大きな地震が来たときには、当然、N T Tやa uのW i - F i も、信号機が停電になってしまったら使えません。防災無線を毎日、夕方になると鐘が鳴ったり、行方不明の老人のをしてテストしていらっしゃるようですが、あれも停電になってしまったら使えません。

そういう場合に、携帯電話が使えない、メガホンでやるか、手旗信号で情報交換しなければならないような地震が来たときに、市の防災は何を考えていらっしゃるのかなというところも、よろしくお願いいたします。

防災安全部長

私も25年前に防災課にいたときに、今言われたアマチュア無線の登録を皆様方をお願いをしていたところがありまして、旧庁舎にはちゃんとアンテナと無線室がありました。今の庁舎についても無線室はあります。ただ、いつか、最初にありましたけれども、その後、皆様方との登録が途絶えてしまい、今現在やっていません。ただ、線はつながっていますので、アンテナをうちの無線室から持っていけば、やることはできます。私も免許は持っていますが、そういった者が、昔はおられたのですが、今は、防災課の中では私1人ぐらいしかいないので、またそういったところをもっと広げていきたいと考えてはいます。すみませんが、よろしくお願いいたします。

玉川学園町内会

形だけつくって、設備は持っているけれども、運用する人がいないと何の役にも立たないです。宝の持ち腐れです。

玉川学園町内会

私から1点、一番引っかかっていることがあるのですが、防災拠点、震災時の医療拠点について半径2kmという話がありました。確かに地図の上でコンパスで描けば半径2kmでしょう。でも、それは現実を知らない人の論理であ

って、これだけの山谷があって、細い道路があって、例えば負傷者が出たときに、リヤカーに乗せて坂道を登れますか、あけぼの病院まで行けますか、こういうことを私どもは一生懸命言っているわけです。なので、町五小にそういう機能をぜひ持たせていただきたい。平坦地であれば、そんなに問題はないのでしょうけれども、こういう特殊な地形ですので、今、一生懸命、自主防災隊を中心に避難訓練も頻繁にやっていますが、リヤカーに人を乗せて坂道を登るのは本当に大変です。医師会とのお話もあるでしょうけれども、ぜひ実現に向けて、一歩でも二歩でも前に進めていただければと思います。よろしくお願いします。

旭ヶ丘町内会

市民協働推進課の部長さんに質問なのですが、芹ヶ谷でやる流鏑馬は、どうも鎌倉時代の源頼朝が……。

(司会) 地区連合会長

今話した中に関する質問ですか。

旭ヶ丘町内会

それに関する質問ではないから、やめましょう。

玉川学園町内会

先ほどの無線の話は、市の避難施設連絡会で主体的に動けるように今整備中です。多分、今月、来月ぐらいには無線のシステムでどういう動きをしようかというのは、市の指導の下で動けるように準備しています。

あと、先ほどの擁壁の耐震診断のところちょっとあったのですが、今のほうで火災に関しては、危ないおうちをマッピングして、地域の重点ポイントを啓蒙していらっしゃいます。建築についても、耐震診断を助成されて、1次診断は無料で、市で助成してやっていただけるということで、玉川学園地区は危険な擁壁、2 m以上の擁壁が3 0 0 0か所あります。ほかのところとレベルが違います。おうち自体は耐震診断をしているから倒壊しないのですが、擁壁が倒壊してしまったおうちが倒壊してしまう事例が3 0 0 0か所ある。それを目視でやれというのは、このご時世、言語道断であるというのが私の意見で、そういうのを、火災のポイント、燃えやすいおうちを検出するようにする技術が今全国にあります。2 0 2 5年の建築基準法改定に伴って、こういうシステムがどんどん現れてきます。その辺に着目をしていただきたいという意味で、私は今回、切り土、盛り土のマシンを買ってくれという話をしています。それで玉川学園地区の防災はかなりアップします。よろしくお願いします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、10分弱説明します。概要を全てやっていると30分ぐらいかかってしまうので切り抜いてやります。

まず東京都立児童相談所（現八王子）です。これが来年6月以降東京都立町田児童相談所として山崎保育園の隣に設置をされます。つまり、分割になるのです。現在は、例えば児童虐待のおそれがあるみたいなときに、現場に八王子から来ているのです。ですから、行き帰りでもう時間が使われてしまう。しかも、こういうケースですと昼間会えないので、夜会うとなると、夜会ってから八王子に帰るみたいな状況なので、町田に設置しようとお願ひして、やっとな分割で来年からできるようになりました。

それから、小・中学校給食費についてです。年明けの3学期から小学校、中学校全ての生徒が無償化になります。負担がなくなるということです。現行のデリバリー弁当がなくなるかなくならないなどの、細かいことはあります。

今初めて言うので、まだ議会にも出していないのですが、12月の議会に出すつもりです。無償化といってもあまり大きなお金ではないです。市が負担をするという話です。第2子以降の無償化ではなく、全小中学生の無償化が年明け3学期から始まります。保護者の方につきましては、いろいろな負担が減るのかなと思います。

続いて、中学校給食センターについてですが、玉川学園のエリアは2025年4月の1学期から開始の町田忠生小山エリアになります。工事は、旧忠生第六小学校で行っています。来年の4月には、全員給食が始まります。南エリアは5校中学校があるのですが、来年の2学期から全員給食が開始します。

また給食費についてですが、市役所が給食費を取ることがなくなり、教材費も去年から市役所で扱うことになりました。

特別養護老人ホームですが、申込み後、1年以内入所が大体今92%となっております。

それから、木曽山崎パラアリーナ、先ほど、町田地区の中学校給食センターを造っていると言いました旧忠生第六小学校の半分を使ってパラアリーナ、障がい者の利用を優先する体育館の整備に向けて、事業を進めています。

次に、国際工芸美術館ですが、公園内にエレベーターを造ることになりました。原町田のほうから行って下の谷に下りるところにエレベーターができることになりました。

また、26年度、1年ちょっと後になるとプラスチックの分別が始まります。今は横浜線の南側だけでやっているのですが、町田市域全域がプラスチック分別になります。容器包装リサイクル法に基づいて企業側に責任が生じるということで、集めるのは役所ですが、全部リサイクル協会に持ち込むということな

ので、家庭では、今、南のほうでやっているのと同じように、週1回、ピンクの袋で、黄色い袋の半分の金額でプラスチックだけを入れてくださいということになります。来年度、25年度になりましたら、各町内会・自治会にお願いをして広報、宣伝をさせていただきます。今、何と、南地域は協力してくれることに半分行っていないのです。ほかのものが混じっている。面倒だからしっかき分別できていないということなので、協力率を上げることも含めて、来年、皆さんに、役員の方もいらっしゃると思いますが、協力をお願いしますという話をして、26年度にスタートする形になっています。

取りあえず以上です。

《質疑》

南大谷団地自治会

市政報告会、ありがとうございました。成瀬子どもクラブですが、東玉川学園、昭和薬科大学のほうだと、こころこ児童館に行くのはかなりあるので、平地から行けるあちらのほうがいいのかと思ってはいたのですが、先月、コミセンに行ったら更地できれいなままだったのですが、2025年のオープンというのはできるのでしょうか。

町田市長

25年度オープンというのは、やや希望的な観測です。実は25年秋にオープンする予定でスタートしたのですが、入札が不調及び中止になりまして、この値段では工事しませんと言われて、もう1回やり直しています。それは9月に補正予算を組んでやっていると思うのですが、この後、入札でオーケーしてくれる事業者がいれば、25年度、1年半後にオープンできるというつもりで書いているので、1年半あれば何とか工事はできるかと思います。

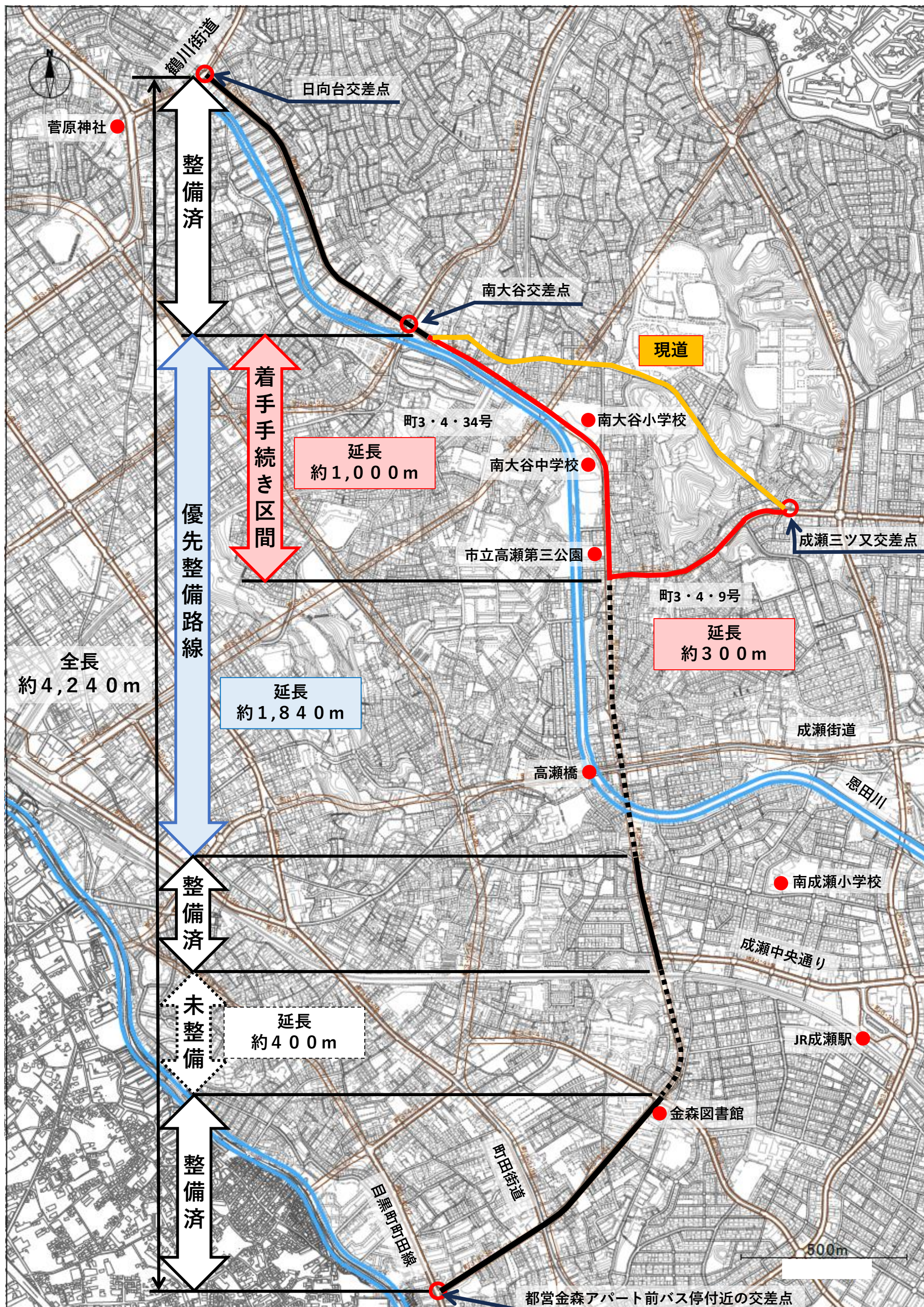
玉川学園南台自治会

市長が説明なされた資源ごみの件で、ぜひ進めていただいて結構だと思うのですが、説明を多言語でお願いできないかということを考えています。住民の方々は日本人だけではなくて、ブラジルの方もいらっしゃるし、中国の方もいらっしゃるものですから、その辺の関係で、災害もそうですが、他国の方がいらっしゃるものですから、避難のときに我々が日本語で説明してもなかなかお分かりにならない方が多いし、ごみ出しにもかなり影響するものですから、そのように、皆さんに多言語で対応できるような形でスペースか、あるいはチラシなどに、念頭に入れていただいた形で印刷をやっていただければと思います。ぜひご協力をお願いできればと思っています。

町田市長

町田在住の外国人の方は増えていますので、今お話がありましたことはしっかりやっていかないと、そのことで逆にトラブルになるとマイナスになりますので、それを防ぐ意味でも、多言語対応はしていきたいと思います。ただ、ごみカレンダーを全部でやるとかなり分厚くなってしまうので、どうするかはちょっと考えます。

○閉会の挨拶（玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会 副会長）



玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会市政懇談会
議題1 資料2

完成までの事業の流れ

3・4・34号線

2024年度

用地測量説明会・用地測量
設計・事業認可取得



2025年度

用地説明会・用地取得開始
設計



2026年度

設計
用地取得



2027年度

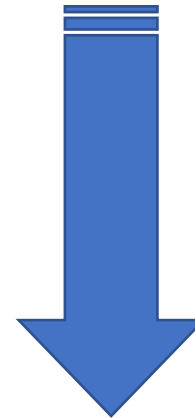
工事開始

3・4・9号線

用地説明会・用地取得開始
設計



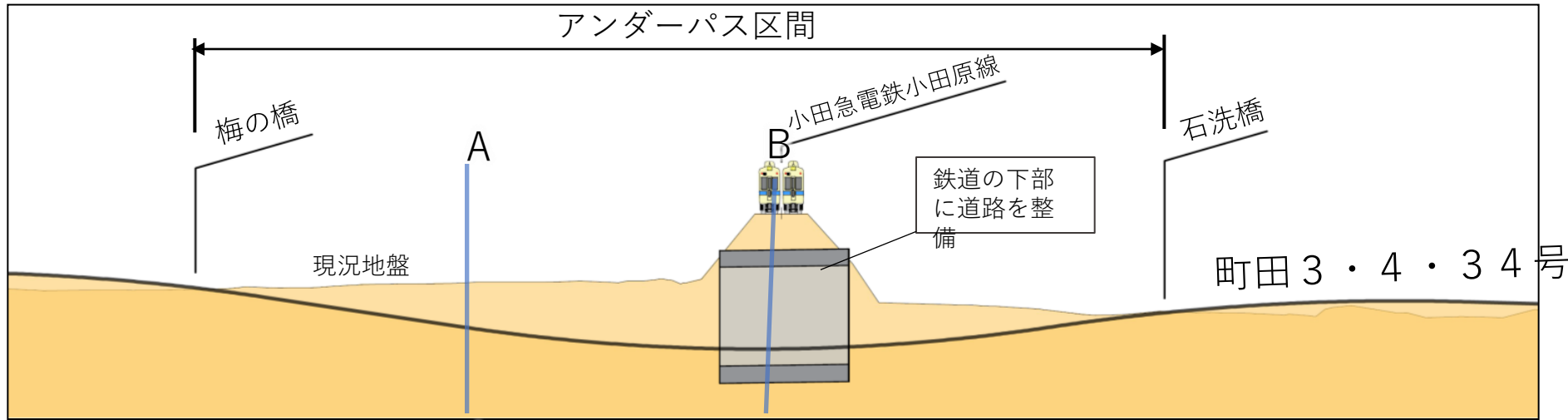
設計
用地取得



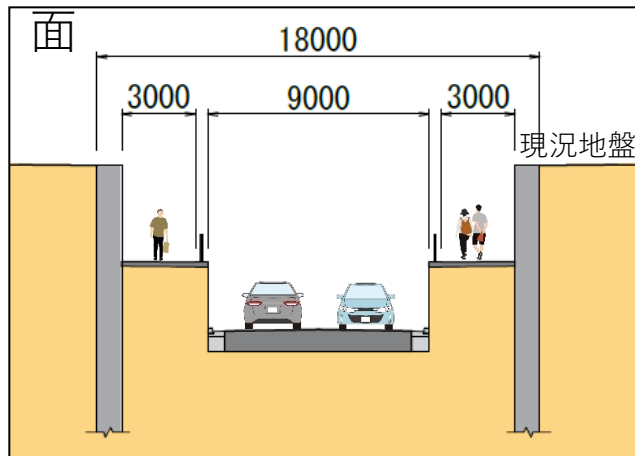
工事開始

玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会市政懇談会

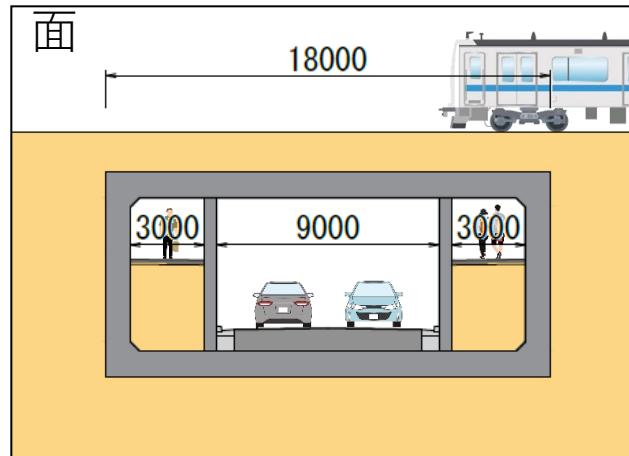
議題1 資料3



A - A 断



B - B 断



※水平と高さの比率を変えています



※図は鉄道との交差方法を模式するものであり、実際の位置、形状とは異なります。

【立体交差事例：相模原市、鶴の台立体交差】